

# ふくろい環境通信 ~23号~

発行：令和4年2月2日 環境政策課 環境企画係 44-3135

袋井市は、「**ゼロカーボンシティ**」の  
実現を目指し、市民、事業者と一丸となり、  
全力で施策に取り組んでいくことを  
宣言しました。（令和4年2月1日）



ゼロカーボンシティ宣言式 大場市長

## ゼロカーボンシティとは？

市内における、日常生活・経済活動などによる二酸化炭素排出量から森林などによる吸収量を差し引いて、**二酸化炭素排出量の合計を実質的にゼロ**にすることです。

## なぜゼロカーボンシティを目指すのか？

近年、地球温暖化により引き起こされる台風や、豪雨などの災害は、私たちの生活に非常に深刻な影響を及ぼしています。

2015年に合意されたパリ協定では、地球温暖化を防ぐため「産業革命からの平均気温上昇の幅を2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が掲げられました。

さらに、2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書において、この目標を達成するためには「2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることが必要」とされています。

現在、国をはじめ、全国で500を超える自治体が「ゼロカーボンシティ」宣言を行い、様々な対策に取り組んでいます。袋井市においても、この度の「ゼロカーボンシティ」宣言をとおして、さらなる取組の推進をしていきます。

## 袋井市の宣言内容は？

袋井市が望ましい環境像として掲げる「人と自然にやさしい環境を みんなで創り 守り 育てるまち ふくろい」の実現と、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指し、市民、事業者の皆様と一丸となって全力で取り組んでいくことを宣言しました。

地球温暖化対策にご協力をお願いします！



### 袋井市「ゼロカーボンシティ」宣言

近年、地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響により、世界各地で自然災害が頻発、激甚化しています。国内各所においても、猛暑や集中豪雨等の気象災害が頻発し、甚大な被害をもたらしています。

こうした気候変動は、私たちの生命や財産をおびやかすだけでなく、全ての生き物にとっての生存基盤を揺るがす極めて深刻な影響を及ぼしています。

2015年に合意されたパリ協定では、「産業革命からの平均気温上昇の幅を2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が掲げられました。

さらに、2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書において、この目標を達成するためには「2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることが必要」とされています。

袋井市は、本市が望ましい環境像として掲げる「人と自然にやさしい環境を みんなで創り 守り 育てるまち ふくろい」の実現と、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指し、市民、事業者の皆様と一丸となって全力で取り組んでいくことを、宣言いたします。

令和4年2月1日

袋井市長 大場規之

## 市民の皆様へ

ゼロカーボンシティの実現には、一人ひとりのエコな生活への転換が必要です。

小さなことでも良いので、できることからエコな生活を始めてみてください。

- ・ **エネルギーを節約しましょう**（節電・節水・省エネ家電への買い替え）
- ・ **食品ロスをなくしましょう**（食事を食べ残さない・食べきれぬ量を買う）
- ・ **ごみを減らしましょう**（リサイクル・マイバックやマイボトルの持参）

## 「ゼロカーボンシティの実現に向けた包括連携協定」を締結しました

袋井市は「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、『**鈴与商事株**』を代表者とする5社で構成された共同企業体と包括連携協定を締結しました。（令和4年2月1日）

協定名：「ゼロカーボンシティの実現に向けた包括連携協定」

協定期間：令和4年2月1日から令和19年3月31日（15年）

### ＜協定締結者＞

写真左から

- ① しずおか未来エネルギー(株)
- ② 三井住友海上火災保険(株)
- ③ 鈴与商事(株)
- ④ 袋井市
- ⑤ 鈴与電力(株)
- ⑥ (特非)アースライフネットワーク



協定締結式

※写真撮影時のみマスクを外しています。

### 協定締結の経緯・目的は？

協定を締結した共同企業体は、令和3年11月から12月にかけて実施した「袋井市公共施設への電力供給等業務プロポーザル」に参加し、最優秀提案者に選定しました。

このプロポーザルでは、**公共施設への再生可能エネルギー由来の電力供給、PPA方式による公共施設への太陽光発電設備の設置**など、脱炭素社会の実現に向けた提案をはじめ、エネルギーの地産地消、持続可能なまちづくりに貢献するような提案が数多くあり、今後、ゼロカーボンシティの実現に向けて、**幅広い視点で共同企業体と袋井市が連携**していけるよう、協定を締結しました。

※PPA…Power Purchase Agreement（電力購入契約の略）

発電事業者が太陽光発電設備を設置するため、初期費用ゼロで利用可能。

## 協定により連携すること

- ① 公共施設への電力供給に関すること
- ② 脱炭素社会の実現に関すること
- ③ エネルギーの地産地消に関すること
- ④ 持続可能なまちづくりに関すること
- ⑤ 環境教育の推進に関すること
- ⑥ その他ゼロカーボンシティの推進に関すること

ゼロカーボンシティに向け、  
一人ひとりができることを  
探してみましよう！！

協定締結者	担当役割
鈴与商事(株)	PPA事業
鈴与電力(株)	電力供給
三井住友海上火災保険(株)	環境啓発
(特非) アースライフネットワーク	環境教育、環境啓発
しずおか未来エネルギー(株)	環境教育、環境啓発



## 今後の取組予定は？

まず、公共施設から排出されるCO2を削減するため、**公共施設への再生可能エネルギーなどCO2を排出しない電力の導入推進**、**PPA方式による公共施設への太陽光発電設備の設置**を進めていきます。併せて、環境意識の向上を図るため、**企業、小中学校などを対象とした環境啓発事業**を実施します。

また、これらの取組以外においても、**市内の卒FIT電力（FIT制度による買取が終了した電力）の活用**など、様々な事業の実施に向け、調整していきます。

<公共施設への再生可能エネルギー導入目標>

